

① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

① 掃部山公園・野毛山公園のさくらを満喫する（ガイド）

催行日:2019年3月27日(水) 9:30 集合:地下鉄高島町駅（改札を出て地上出口）

・中川駅 8:55～9:23 高島町駅

◆地下鉄高島町駅:改札は前方、エスカレーター、またはエレベーターで改札階(B2) 更にエスカレーター・エレベーターで地上、地上の駅前が待ち合わせ場所です。



地下鉄高島町駅→戸部大通り商店街→岩亀神社→掃部山公園→横浜能楽堂→神奈川奉行所跡→伊勢山皇太神宮→成田山横浜別院・野毛山入口の擁壁→野毛山公園→配水池(解散)(野毛山動物園・桜木町へ)



左へ行くと、2代目横浜駅遺構があるが、今回はそこは省き右方向へ向かい、花咲町6丁目の信号を渡り右折、細い路地を一つ通り過ぎて戸部通り5丁目信号を渡り左折し、戸部通りを直進。この戸部通りが、かつて戸部商店街と呼ばれ、賑やかな商店街であったが、今日ではその面影はなく「昔の光いまいずこ」の感である。



道なりにまっすぐ進むと地域医療で最近注目されている亀田病院が見えて来る。病院前を少し過ぎると戸部4丁目交差点、信号渡り左折、2つ目の路地(岩亀横町)(がんきよこちょう)を



通過し 少し進むと岩亀稲荷の幟がたっている。民家と民家の間の細い路地を奥に進むと、岩亀稲荷神社の小さな祠が鎮座めされている。このあたり一帯は、その昔、遊郭であって、現在の横浜スタジアム付近に近郊でも名を馳

① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

せた岩亀楼という大きな楼閣があって、その女郎さん達が静養する宿がこの付近にあり、女郎さん達がお参りして信仰を集めたのがこ岩亀稲荷神社だといわれる。

少し戻って左折、岩亀横町を道なりに直進、前方左側に石垣が見えてくる。直進すると戸部通りとの流し、左側が掃部山公園の戸部通り側入口がある。前の石垣が見えてくる辺りの手前に三沢電気の看板が見える手前の狭い路地を左折し直進、突き当たりに、掃部山公園の岩亀横町側入口がある



今回は戸部通り入口から公園に入る。なだらかな登り坂を進むと、左側に日本庭園がある。



さらに坂を上り広場に出ると、左側に眺望が開けみなとみらい地区のランドマークが見え、絶好のカメラポイントがあちこちにある。広場奥には公園の名前の元になった「大老井伊掃部守直弼像」が横浜の港を見下ろす方向に向いて立っている。銅像の左側には、子爵井伊直安寄贈の噴水と水飲み施設が現存する。

公園右側隅の風格のある正面入り口を見るためにここから出て右折、横浜能楽堂方面へ進む。

平成8（1996）年、横浜能楽堂が公園の一角に移転された。これは、旧加賀藩（石川県）の藩主前田斉泰の屋敷にあったものが移されたもので



本格的な能楽の舞台。2階の展示廊には、能装束や楽器などの能楽資料が展示されている。

① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

能楽堂前を左折して、紅葉坂方面へ。紅葉坂通りとの左角の建物は県立青少年センター、左折して進むと神奈川奉行所跡の標柱があり、更に少し坂を下ると、左側に「金星太陽面経過観測記念碑」の大きな自然石ある。この坂を下るともみじ橋を通過、桜木町駅へと通じる。今回は坂を少し引き返して、神奈川奉行所跡前の横断歩道を渡り、高級マンション



の高い石垣の丸いへりに沿って右折し、伊勢山皇大神宮へ表参道へ向かう。

伊勢山皇大神宮は、天照大御神を御祭神とし、「関東のお伊勢さま」と親しまれる、明治初年に



国費を以て創された神社であり、神奈川県
の宗社、横浜の
総鎮守です。
やや長い石段
を上る。
中段辺りの左
側に西南戦役

の軍人戦没者記念碑、蔣公頌徳碑がある。

降りた石段の直ぐ前の路地に入って、野毛山不動尊の名で知られる横浜成田山へ向かう。新築



なったばかりで真新しい本
殿の中に入れる。この寺は、
朝7時から夕刻5時までの毎
奇数時間に護摩祈祷がり本
殿に上がって参拝できる。
(無料)なお、11時の護摩祈
禱前、または祈祷後に担当
のお坊さんに寺の由来、戸
部周辺の歴史や寺との係り
等について話(説明)をして
もらえるよう依頼してある。

本堂の左側隅に崖下へ降りるエレベーター、右奥には横浜駅・根岸道路へ降りる昭和のレトロな
霧田気を残した路地があり、何となく落ち着いた気分になる。

① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

横浜駅根岸道路に出ると、直ぐ左側が野毛山入口の広い交差点で、信号で対面へ渡る。野毛山へ上る道路の右側石垣が旧平沼仙蔵邸の石積擁壁。

横浜市認定歴史的建造物。1890(明治23)年～1893年築造と推定される旧平沼邸の擁壁。亀甲石積の擁壁は見事な六角形の石が積み上げられている。平沼専蔵(1836-1913)は、明治期に



生糸や米穀物商として成功した横浜の豪商。この道路左側の建物は中央図書館である。

緩やかな長い坂を上ると、野毛山公園・動物園見取り図の案内板があり、そこから石段を上がり野毛山公園にはいる。



内部はよく整備されており、遊歩道に沿って進むと要所に案内板がある。初めに、ラジオ塔、中村汀女句碑、佐久間象山顕彰碑等がありそれぞれ解説が掲げられている。園内の散策はこれら案内板に沿ってゆっくり進もう。



道路へ出ると前方に空色のつり橋が見える。野毛山動物園と野毛山地下排水池公園を結ぶ つり橋。右側奥が野毛山動物園入口(入場料無料)。橋の手前に市バス停留所があり桜木町駅行きのバスが出ている



① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

つり橋を渡り、野毛山地下排水池公園にはいる



1887(明治 20)年に日本で初めての鉄管による水道が、相模川上流の水源地から西谷浄水場を経由して、ここ野毛山貯水場まで完成しました。

この近代水道は、イギリス人技師、H.Sパーマーの指揮の元、建設が行われ、その功績をたたえ、跡地には胸像が建てられている。



他に、オリンピック記念碑。1964年のオリンピックで、サッカー、バレーボール、バスケットボールの予選が横浜で催されたのを記念して建てられた。

展望台。野毛山の高台に更に3階建ての展望台で、台上からの眺めは素晴らしい。



展望台を降りたところで今回の散策は解散。

(野毛山動物園を訪ねる、桜木町・みなとみらいを訪ねるのも良いか)

お疲れ様でした

① 掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫

3月6日(水)
 テーティング3月20日(水)
 観劇本巻 3月27日(水)

掃部山公園・野毛山公園のさくら満喫コース

高島町駅

戸部大通り商店街

井伊掃部頭の銅像

能楽堂

岩亀神社

神奈川奉行所跡

旧平沼専蔵邸の石積擁壁

伊勢山皇太神宮

桜木町駅

野毛山公園

野毛山動物園

野毛山配水池

高島町駅—岩亀稲荷—掃部山公園—井伊直利銅像—横田能楽堂—神奈川奉行所跡
 —金屋大塚面経通戦国記念碑—伊勢山皇太神宮—故平沼専蔵邸の石積擁壁
 —野毛山公園—野毛山動物園—野毛山配水池—動物園前で解散
 (市営バスが歩いて桜木町駅へ)